

常願寺川砂防施設重要文化財記念式典が 開催されました。



昨年11月、すでに重要文化財になっていた白岩堰堤に、本宮堰堤と泥谷堰堤を加え、「常願寺川砂防施設」として国の重要文化財に指定されたことを記念する式典が行われました。

日時：平成30年8月31日(金) 10:30~11:30
 場所：記念式典:小見コミュニティセンター
 記念碑除幕:本宮堰堤下流左岸水辺の楽校きらきら広場
 名称：常願寺川砂防施設重要文化財記念式典
 主催：常願寺川砂防施設重要文化財記念事業実行委員会
 (名誉委員長:知事、委員長:県土木部長)、
 富山県、富山県教育委員会、立山砂防事務所、富山市、立山町

◆プログラム◆

【記念式典】

- ・ 開会
- ・ 式辞 富山県知事 石井 隆一
- ・ 挨拶 国土交通省北陸地方整備局長 吉岡 幹夫
- ・ 祝辞 富山県議会議長 高野 行雄
- ・ 「重要文化財 常願寺川砂防施設の紹介」
富山県教育委員会 生涯学習・文化財室長 菊池 政則
- ・ 小見小学校の児童による発表 富山市立小見小学校 6年生4名

【記念碑除幕】

- ・ 記念碑除幕・くす玉開披

○小見小学校の児童による発表

本宮堰堤は土砂を貯める量が日本一で、僕たちの誇りです。

僕たちは、5月の上山式に参加し、これから立山カルデラの砂防工事に向かう皆さんを見送りました。僕たちがいつも本宮堰堤を見て学校に通う当たり前の景色を当たり前にしてくれているのも、こうした砂防事業にかかわる人たちの努力の結果だと思います。ぜひ、常願寺川の砂防施設を多くの人に知ってほしいです。



小見小学校6年生の皆さん

重要文化財「常願寺川砂防施設」(平成29年11月指定)

- ・ 白岩堰堤：昭和14年完成、本堰堤高63m、7基の副堰堤をあわせ落差108m(日本一)
- ・ 本宮堰堤：昭和12年完成、本堰堤高22m、貯砂量約500万m³(日本最大級)
- ・ 泥谷堰堤：昭和13年完成、砂防堰堤22基、床固3基、山腹工による溪流や斜面の安定と植生の回復。



石井知事



吉岡局長



高野議長



菊池室長



除幕の瞬間!



記念碑の前で